

## ごあいさつ

「中之島に鼯を放つ」は昨年度(2022年度)に始まった芸術を核とした大阪大学の社会人教育プログラムです。このプログラムに、一つの具体的な拠点が誕生しました。大阪大学中之島芸術センターです。このセンターは、本年4月に本格始動したばかりの新しい組織ですが、「中之島に鼯を放つ」の2年目にあたり、計画実施の中心となります(主催の人文科学研究科、総合学術博物館に加わります)。そして、多くの企画が中之島芸術センターで開催され、実施される予定です。いわば「鼯」の巣が中之島に誕生しました。

タイトルに現れるこの「鼯」については、プロジェクトの命名者、永田靖教授は「あの神出鬼没にして、いささか好戦的、異臭を放って敵をひるませ、かと思えば逃げ足も速く、夜行性でもあって、都市農村の区別なく出没」する動物だ、と書いていました。「そんな鼯は、しかしながら、この時代の私たちのアートを喰えるのにまたとない生き物のように思われます。私たち自身が鼯に身をまっし、鼯こそがアートだと一斉に街中に放擲し、また逆に鼯に翻弄されて、そんな鼯に我が身を預けていく。現代のアートとはまるで都市の鼯のようです。しかし、そうやって鼯とともにあることは、このグローバリゼーションの終わりの時代を誠実に生き抜いて行くための、一つの知恵の証のようにも感じられます。」

## 開催概要

本プログラムは、大阪大学中之島芸術センター、大阪大学大学院人文科学研究科、大阪大学総合学術博物館が共同し推進するアート人材育成プログラムです。今日のアート人材には、多様な芸術ジャンルに精通し、現代文化の複雑な諸課題に柔軟に対応できる実践力が求められています。このプログラムでは、学際性に富み、アーティストとの交渉能力を備え、地域社会とのファシリテーション力を持ち、アート創造のプロセスに関わることのできる能力を持つ人材を育成します。統括セッションと4つのリサーチ・フレームを設定し、縦横に交差しつつ学びながら、総合的なアート実践能力を育成します。現在様々な分野で活躍する、アーティスト、アートディレクター、芸術系行政官、研究者等と受講生とが交流を深め、ネットワークを構築し、アートによる多面的な価値の創出を目指します。

本プログラムは、令和5年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」による助成を受けており、大阪大学中之島芸術センター、大阪大学大学院人文科学研究科、大阪大学総合学術博物館が共同で主催し、開講いたします。また、近隣のあいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール、浄るリシアター、豊中市都市活力部魅力文化創造課、兵庫県立尼崎青少年創造劇場、ピッコロシアター、公益財団法人吹田市文化振興事業団(メイシアター)、豊中市都市活力部魅力文化創造課、兵庫県立尼崎青少年創造劇場、ピッコロシアター、公益財団法人箕面市メイプル文化財団などの芸術諸機関の協力を得て行います。

デザイン  
濱村 和恵

ここに付け加えることはほとんどありませんが、私たちの周りでは、コロナ禍の間、凍結されていく様々なことがいよいよ大きく動き出している気がします。公的にも私的にも、さまざまなものが終わり、なくなり、そして新しいものが芽をふき出しました。おそらく2022~23年は、21世紀の大きな画期の一つになるでしょう。このような時代に、芸術に何ができるのか?あるいは逆に私たちは芸術によって何をしようとしているのか?さらには芸術は現代において可能なのか?というのが、「中之島に鼯を放つ」が始まった時に、私たちが掲げた問いかけでした。簡単に答えが出るような問いではありませんが、ただこういう時期だからこそ、芸術が担う役割は大きくなってきている、と私たちは思っています。芸術は、誰かが、何かが、境界の彼方に去った時に、その人を弔い、その何かのために祈り、境界を越えてコミュニケーションするために実践してこれたと考えられるからです。この確信を核にしなが、今年度も「中之島に鼯を放つ」の活動をさらに展開していきたいと思ひます。

大阪大学中之島芸術センター・大阪大学大学院人文科学研究科  
伊東 信宏

## 年間予定表

日程	時間帯	フェーズ	プログラム名	会場
2023年 7月 8日(土)	午後	統	〈中之島に鼯を放つII〉オープニング・セミナー	大阪大学中之島芸術センター
2023年 7月 9日(日)	午後	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 7月13日(木)	午前	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(C)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 7月17日(月祝)	午後	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 7月29日(土)	午前～夜間	統	アート・リング-アートのエコシステムへのいざない -The Art Ring - Invitation to the Ecosystem of Art -	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月 5日(土)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月 6日(日)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月12日(土)	午後	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月16日(水)	夜間	統	サマースクール(臨界のアートへ)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月17日(木)	夜間	統	サマースクール(臨界のアートへ)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月18日(金)	夜間	統	サマースクール(臨界のアートへ)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月19日(土)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月21日(月)	夜間	統	サマースクール(臨界のアートへ)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月22日(火)	夜間	統	サマースクール(臨界のアートへ)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月26日(土)	午後	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 8月27日(日)	午後	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月11日(月)	夜間	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(B)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月13日(水)	夜間	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月15日(金)	夜間	臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月16日(土)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月18日(月祝)	午後	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(B)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月23日(土祝)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年 9月(調整中)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(B)	乗船ツアー
2023年10月20日(金)	午前～夜間	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年10月21日(土)	午前～夜間	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年10月22日(日)	午前～夜間	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年10月28日(土)	午後	統	アート・リング-アートのエコシステムへのいざない -The Art Ring - Invitation to the Ecosystem of Art -	オンライン
2023年10月(調整中)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー『中之島デリバティブII』(B)	乗船ツアー
2023年11月 4日(土)	午後	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(B)	大阪大学中之島芸術センター
2023年11月11日(土)	午後	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(A)	大阪大学中之島芸術センター
2023年11月17日(金)	午後	日 日常のポイエティック	〈日常のポイエティック〉町工場アートの可能性を探る	東大阪市
2023年11月18日(土)	午後	日 日常のポイエティック	〈日常のポイエティック〉町工場アートの可能性を探る	東大阪市
2023年11月19日(日)	午後	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(B)	大阪大学中之島芸術センター
2023年11月23日(木祝)	午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー「ムラカミヤスキ写真展」	大阪大学中之島芸術センター
2023年11月下旬～12月上旬		臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	学外
2023年12月 1日(金)		場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー「ムラカミヤスキ写真展」	大阪大学中之島芸術センター
2023年12月 3日(日)	午後～夜間	日 日常のポイエティック	〈日常のポイエティック〉街との対話	大阪大学中之島芸術センター
2023年12月12日(火)～ 2024年 1月21日(日)	午前～午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー「ムラカミヤスキ写真展」	大阪大学中之島芸術センター
2023年12月16日(土)	午後	ア アートとその分身	人間/人形の曖昧な境界(C)	大阪大学中之島芸術センター
2024年 1月		臨 臨床のアート	アクセシビリティ・リサーチ・ジャム	大阪大学中之島芸術センター
2024年 1月22日(月)	午前～午後	場 場所のナラティブ	都市のアルケオロジー「ムラカミヤスキ写真展」	大阪大学中之島芸術センター
2024年 2月10日(土)	午後	統	〈中之島に鼯を放つII〉クロージング・シンポジウム	大阪大学中之島芸術センター

※プログラムの日程・内容については、変更、オンライン実施、もしくは中止になる可能性があります。



お問い合わせ

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53  
大阪大学中之島センター 3階「アート・スクエア」内  
大阪大学中之島芸術センター アート人材育成プログラム事務局  
お問い合わせフォーム: <https://nakanoshima-itachi.org/contact>

大阪大学中之島芸術センター・大阪大学大学院人文科学研究科・大阪大学総合学術博物館主催  
「中之島に鼯を放つII」—— 大学博物館と共創するアート人材育成プログラム

## 統括セッション

### 「中之島に颯々放つII」オープニング・セミナー

開催日: 2023年7月8日(土)  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 伊東信宏(大阪大学中之島芸術センター、大阪大学大学院人文学研究科)、永田靖(大阪大学中之島芸術センター)、渡辺浩司(大阪大学大学院人文学研究科)、橋爪節也(大阪大学総合学術博物館)、岡田裕成(大阪大学大学院人文学研究科)、高安啓介(大阪大学大学院人文学研究科)、古後奈緒子(大阪大学大学院人文学研究科)、鈴木聖子(大阪大学大学院人文学研究科)、伊藤謙(大阪大学総合学術博物館)、横田洋(大阪大学総合学術博物館・大阪大学大学院人文学研究科)、山崎達哉(大阪大学中之島芸術センター)、鄭実香(大阪大学中之島芸術センター)ほか

本事業の理念を共有し、各プログラムの趣旨やねらいの下で各活動に受講生と事業担当者がどう関わるかを確認します。

### 「アート・リング ～アートのエコシステムへのいざない～ The Art Ring — Invitation to the Ecosystem of Art —」

開催日: 2023年7月29日(土)、10月28日(土)  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 伊藤謙ほか

アーティスト・サイエンティストたちが産みだす「アート」は、教育・社会そして経済とつながり、次世代の文化の創生へと帰結します。このエコシステムは、アートが誕生してから、絶え間なく続いてきました。本講座ではこのエコシステムを、「アート・リング」と呼び、「リング＝輪」各所に存在する有識者との交流を通し、次世代の文化創生について考えます。そして、アート・リングを世界的に展開するアーティストやダイレクターそして関連する最新技術の開発者を招請し、世界の潮流にも迫ります。今年度は、アートと多分野の境界線を学びつつ、ミュージアムのデジタル化を中心に話題を展開していきます。

### 「中之島に颯々放つII」クロージング・シンポジウム

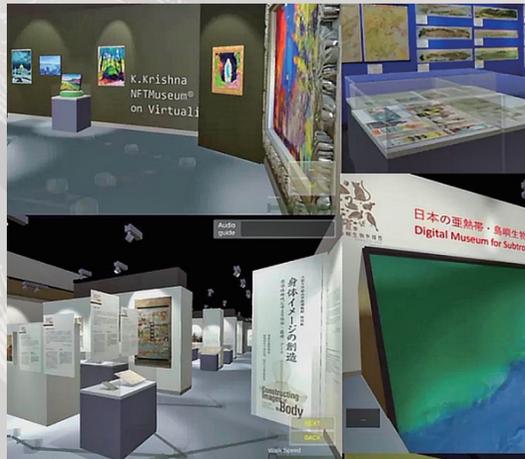
開催日: 2024年2月10日(土)  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 伊東信宏、永田靖、渡辺浩司、橋爪節也、岡田裕成、高安啓介、古後奈緒子、鈴木聖子、伊藤謙、横田洋、山崎達哉、鄭実香ほか

1年間の企画運営の成果や問題点を明らかにし、ディスカッションで本プログラムの目的と結果を検証することで、今後の同種の事業の内容を豊かにします。

### 「中之島に颯々放つII」サマースクール「臨界のアートへ」

開催日: 2023年8月16日(水)～8月22日(火)  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 楢皮一彦(アーティスト)、中村恭子(大阪大学中之島芸術センター)、園田郁(大阪大学中之島芸術センター)、伊東信宏、永田靖、橋爪節也、岡田裕成、高安啓介、鈴木聖子、山崎達哉、鄭実香ほか

基礎レクチャーとして、「サマースクール」と題した連続レクチャーを行います。「中之島に颯々放つII」のアーティストや事業担当者、中之島芸術センターの教員を講師に迎え、芸術学における研究や教育について、およびアートの現場で起きている現状状況についての知見を得ます。また、4つのリサーチフレームへの橋渡しをしつつ、理解を深め、内容を把握し、プログラムへと連結させます。



メタバースミュージアム © Virtualion, Inc.

## 場所のナラティブ

### 都市のアルケオロジー「中之島デリバティブII」

開催日: 2023年8月5日(土)、8月6日(日)、8月19日(土)、9月23日(土)、上演: 10月20日(金)～22日(日) ※その他、9月・10月に上演準備、稽古等追加日程あり  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 林慎一郎(演出家・極東退屈道場)、畑律江(毎日新聞社)、永田靖、橋爪節也、山崎達哉ほか



中之島界限



林慎一郎

### 都市のアルケオロジー「ムラカミヤスキチ写真展」

開催日: 2023年11月23日(木祝)、2024年1月21日(日)、展覧会: 2023年12月12日(火)～2024年1月21日(日) ※その他、展覧会準備等追加日程あり  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 金森マユ(写真家、映像作家)、佐和田敬司(早稲田大学)、永田靖ほか



ムラカミヤスキチ 村上アツミアーカイブ

第2次世界大戦前にオーストラリアの日系移民の写真家として活躍したムラカミヤスキチの写真作品をキュレーションし、展覧会を開催します。一昨年に開催した「金森マユ写真展『定住とは何だろう: オーストラリア』」に引き続き、オーストラリアの日系移民についてのリサーチ型写真展を開催します。ムラカミヤスキチについては、オーストラリア在住の写真家金森マユが研究を重ね、様々な公開活動を行っています。同時期に開催される中之島芸術センター主催事業の金森マユ作・山口浩章演出「ムラカミヤスキチー遠いレンズを通して」上演と連携して実施します。11月23日にワークショップ、12月1日から写真展の仕込み開始し、12月12日から1月21日まで開催する予定です。



金森マユ

## リサーチ・フレーム

リサーチ・フレームは、「場所のナラティブ」「アートとその分身」「臨床のアート」「日常のポイエティック」の4つで構成されます。リサーチ・フレームでは、「レクチャー」「リサーチ」「ワークショップ」「クリエーション」の4つのステップを複合的に交差させたプログラムを提供します。

※上演や展覧会のための稽古や準備等、具体的な日程については、プログラム開始後にもご案内いたします。

## アートとその分身

### 人間／人形の曖昧な境界

開催日: (A) 2023年11月11日(土)、(B) 2023年9月11日(月)、9月18日(月)、11月4日(土)、11月5日(日)、11月19日(日) ※人形の稽古等追加日程あり、(C) 2023年7月13日(木)、12月16日(土)  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 関典子(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)、ほんまなほ(大阪大学COデザインセンター)、いいむろなおき(いいむろなおきマムカンパニー)、松田正弘(浄るりシアター)、竹本織太夫(人形浄瑠璃文楽座)、鶴澤清志郎(人形浄瑠璃文楽座)、社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター、園田郁、伊東信宏、古後奈緒子、鈴木聖子

「人形」は人間／モノ、人間／機械、人間／至高的存在の間に存在し、またその両者にまたがって現象します。私たちは、古来、人形に人間を演じさせること、人間が人形を演じることに憑かれ、魅せられてきました。本活動は、A) バレエの中の人形から人間を考える、B) 人形の音楽劇を創る、C) 人形浄瑠璃を「聴く」ための最適な場を探る、という三つの方向から、数年後の舞台制作を目指すものです。A) テクノロジーと人間の関係についてリサーチし、人形を呼び物としたバレエ作品を現代の視点からリメイクする可能性を探ります。B) 「ドン・キホーテ」に基づく人形音楽劇「ペドロ親方の人形芝居」(マヌエル・デ・ファリャ)を浄瑠璃人形と共に上演する演出プランの可能性について次の各段階を経て、考えてゆきます。① 演出担当のいいむろなおき氏と共にワークショップ、② 人形遣いについて能勢人形浄瑠璃鹿角座の皆さんと行うワークショップ。C) 文楽座の技芸員による語りと三味線のワークショップと、目の見えない方と共に暗闇で浄瑠璃を「聴く」体験を通して、浄瑠璃のインクルーシブな上演設計を考えます。



### アクマシビリティ・リサーチ・ジヤム

開催日: 2023年7月9日(日)、7月17日(月祝)、8月12日(土)、8月26日(土)、8月27日(日)、9月13日(水)、9月15日(金)、11月下旬～12月上旬、2024年1月 ※以降、自主企画イベントの準備、実施のため追加日程あり  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: 楢皮一彦(アーティスト)、東海林慎太郎(アーツインシアティブウキョウ)、畑まりあ(東京藝術大学)、木坂葵(千島土地株式会社)、山崎達哉、鄭実香ほか

アーティスト・楢皮一彦とともに、アクセシビリティの問題をアートを通して考え、実行します。また多彩なアートマネジャーを講師陣に迎え、アートとアクセシビリティの課題を軸に、レクチャー、ワークショップ等を積み重ね、受講生による企画を実現させます。まず、アートマネジメントの基礎講座やアクセシビリティとアートの関係などを学習しつつ、フィールドワークも実施します。また、アートプロジェクト実現のためのプランニングやアプリケーション作成の演習も行うことで書類作成の知識や技術を培います。最終的には、受講生が主体となり、企画を設計、申請、運営し、受講生によるアートイベントを行います。受講生が主体となり実施することで、アートマネジメントの基礎を養います。



### 町工場アートの可能性を探る

開催日: 2023年11月10日(金)、11月17日(金)、11月18日(土)  
場所: 東大阪市  
講師: 高安啓介、山崎達哉ほか

金属加工を中心に様々な工場が集まる東大阪地域の工場を訪ね、東大阪の工場の実態を体験します。工場の製品や職人の技術や製品をアートの視点で捉えなおし、新たな魅力を引き出す方法を探ります。また、それらの工場の魅力を発信する方法を検討します。



### 街との対話

開催日: 2023年12月3日(日)  
場所: 大阪大学中之島芸術センター  
講師: ちんどん通信社、山崎達哉ほか

ちんどん屋は、広告宣伝を主な仕事としており、街中を宣伝しながら、チラシ(ピラ)を配りつつ歩きます。その際、演奏や口上なども伴うが、最も重要なことは、街に迷惑をかけずに溶け込みつつ、一方で多少の違和感を出すことです。また街中を歩く時に、人と出会い話を聞くことで、コミュニケーションの幅を広げています。本プログラムでは、受講生が運営などを担いつつ、ちんどん通信社との実演付きのトークイベントを行います。

